

現代ギリシャ語の会話レベルにおける
語詞の観察 (1)

橋 孝 司

筆者は、1988年4月から1990年6月までアテネに滞在する機会があったが、その際観察することのできた若干の語詞の、会話レベルにおける興味深い用法を記しておくことにする。

προχθές, μεθαύριο

προχθές は一般に「一昨日」「おととい」を意味する。

η μέρα πριν από την χθεσινή. Γ.

「昨日の前の日」

την προηγούμενη ημέραν της χθες. Δ.

「昨日の前日。二日前」

ところが、口語では、この基本義が厳密には適応されない例がしばしば見られる。以下の(1)(2)はギリシャ人と筆者とのやりとり、(3)は授業中しばしば教官の口から聞かれたフレーズである。

(1) Α. Εκείνη πήρε το γράμμα που γράψαμε προχθές;

Β. Όχι προχθές!

Α. Ε, την προηγούμενη μέρα... αυτό εννοώ.

「私達が、おととい書いた手紙、彼女受け取ったかしら？」

「おととい、じゃないですよ。」

「そう、その前の日よ...そのことを言ってんの」

(2) Α. Ήρθα στο δωμάτιό σου προχθές και χτύπησα... αλλά έλειψες.

Β. Πότε ήρθες;

Α. Την τρίτη.

「おととい君の部屋に行ってノックしたんだけど...留守だった。」

「いつ来たんだ？」

「火曜日」

(B.は、A.が *προχθές* を基本義で使っていない、と判断したために、正確な期日を問い直している。)

(3) Όπως είδαμε προχθές, στο προηγούμενο μάθημα.....

「おとといの前の授業で見ましたように.....」

(実際には授業は四、五日前におこなわれている。)

他方 *μεθαύριο* は一般に「明後日」「あさって」を意味する。

η μεθεπόμενη μέρα. Γ.

「翌々日」

κατά την μετά την αύριον ημέραν. την τρίτην από σήμερον ημέραν. Δ.

「明日の次の日。今日から三日目」

しかし、この場合も、次のような対話が観察された。

(4) A.οπότε θα γυρίσεις μεθαύριο.

B. Όχι, μεθαύριο!

A. (Γελώντας) Ναι...εννοώ σε λίγες μέρες...την Δευτέρα που μας έρχεται, ε;

「...それじゃあ あさって 帰ってくるのね。」

「あさって じゃないよ」

(笑いながら) 「そうね...数日後って言ってるの。この月曜日に、でしょ。」

(5) A. Έστειλες το πακέτο μου που σε παρακάλεσα;

B. Α! Ξέχασα...θα το στείλω μεθαύριο.

「頼んであった小包出してくれた?」

「あっ、忘れた...あさって 出しとくから」

(B.にとって、少なくとも、明日は不可能であるのは確実である。)

また、次のような表現もあるということである。

(6) (父親が放蕩息子に向かって)

Τί θα γίνεις μεθαύριο όταν θα μεγαλώσεις;

「あさって おまえが大きくなった時、どんな人間になるだろうか?」

以上の例から分かるように、*προχθές*, *μεθαύριο* は会話レベルにおいて、次の意味をもあわせ持っているようである。

προχθές 「昨日よりは以前のある日」

μεθαύριο 「明日よりは以降のある日」

この意味を記述しているのは、筆者の探し得た限りでは、M.のみであった。
(下線は筆者による)

προχθές: avant-hier, l'autre jour, il y a quelques jours.

μεθαύριο: après-demain, ces jours-ci(imprécis)

ただし、Δ.には、以下の説明がある。

δημ. ειρων.ουδέποτε.ως απάντησις ειρωνική εις αιτούντας τι ή
αποπειρωμένους ν'απατήσωσιν ή εμπαίξωσί τινα.

「民衆語で、皮肉をこめて、"決して...ない"。何かを請う人、または
誰かを欺こう、或は皮肉ろうとする人への皮肉を込めた答として」
しかし、上例には、皮肉がこめられている訳ではないし、否定辞が含まれて
いる訳でもないので、この説明とは別であると思われる。

略号

Γ.: Γεωργοπαπαδάκος,Α.(1988) Το μεγάλο λεξικό της νεοελληνικής
γλώσσας.

Δ.: Δημητράκος,Δ. Μέγα λεξικόν όλης της ελληνικής γλώσσας.

Μ.: Mirambel,Α.(1960) Petit dictionnaire français-grec modern
et grec modern-français.